



新潟 いずもぎき LIFE

出雲崎町子ども子育てガイドブック

vol. 02

ほどよい田舎で
ゆとりのある
出雲崎ライフ、
はじめませんか。



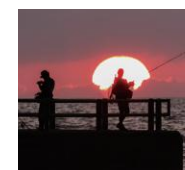
未来へつなぐ
子育て応援宣言の
まち

新潟 いずもざき LIFE

海もある、山もある。
そこそこ田舎の住みやすいまち。

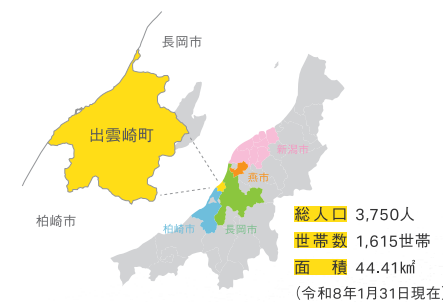
豊かな自然と歴史に彩られた町、出雲崎町。海と山が近く、
季節の恵みを感じながら、穏やかで心地よい時間が流れています。
かつて北前船で栄えた港町には、今も人と人との温かいつながりが息づき、
昔ながらの暮らしと新しい息吹が共存しています。
そんな出雲崎の魅力や日々の暮らし、移住のヒントを、
この一冊のガイドブックにまとめました。
あなたも、出雲崎で自分らしい暮らしを見つけてみませんか。

出雲崎ってどんなまち？ WHAT IS IZUMOZAKI LIKE?



ちょうどいい暮らしができるまち。

出雲崎町は新潟県のほぼ中央、「海の幸」「山の幸」に恵まれた人口3,700人の小さなまち。
近隣は、長岡市・柏崎市・燕市など、通勤時間30分程度で市街地まで結べます。
そこそこ田舎暮らしを楽しみながら、働く場も幅広く選択できる。
仕事も遊びも両立できる魅力的なまち。それが「子育てのまち出雲崎」です。



取り組み EFFORT

住み続けられるまちを目指して——
出雲崎町の取り組みと特徴。



子育て支援が充実

0歳～18歳まで、成長に応じて、切れ目のない子育て支援が充実しています。小さい町ながらの顔の見える寄り添い支援で、子育てを地域全体で支えていきます。



仕事と家庭と遊びの両立

住むのは自然豊かな、そこそこの田舎暮らし。仕事は30分程度で市街地まで結べます。仕事と家庭を両立し、自然と遊びも楽しめる素敵なまちです。



住宅取得支援も充実

転入者等、住宅取得または新築費用を最大で120万円助成。安心して新しい暮らしを始められるよう、住まいづくりをサポートします。

詳しい情報は、出雲崎町ホームページ、
または出雲崎町移住定住支援サイトをご覧ください。



出雲崎町HP



移住定住支援サイト

1 出雲崎町のココが自慢 子育て支援が充実

0歳から18歳までのトータル子育て支援。

子どもが産まれると、それまでとは生活ががらりと変わります。

もちろん、子育ては家族にとってかけがえのない大切な時間ではありますが、

初めての育児への不安や仕事との両立、経済的負担に頭を悩ませる人もいるかもしれません。

そのため、子どもを育てるなら、子育て支援の手厚い自治体で暮らしたいという人も多いでしょう。

そういう想いを叶えるまち、それが「子育てのまち 出雲崎」です。



未来へつなぐ
子育て応援宣言の
まち

妊娠期から、成人・婚姻まで

出雲崎町ではそれぞれのステージで子育てを支援しています。

01



02



妊娠期 P5

母子健康手帳交付(妊娠届)／妊婦一般健康診査／妊産婦医療費助成／妊婦等包括相談支援／不妊治療等助成／家事支援／幸せを運ぶコウノトリ祝金(出産準備金)／妊婦支援給付金／妊婦歯科健診／インフルエンザ予防接種の助成／予防接種(定期)／みんなの保健室

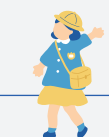
赤ちゃん期 P6

出生届／子どもの医療費助成／児童手当／乳幼児おむつ等給付／家庭ごみ用指定袋等交付／産婦・新生児訪問／産婦健康診査費助成／新生児聴覚検査費助成／幸せを運ぶコウノトリ祝金(出産祝い金)／妊婦支援給付金／ベビーマッサージ／産後ケア／チャイルドシート貸与

04



03



小中学校 P8

入学卒業祝金支給／町公設学習塾／学校給食費完全無償化／小学校スクールバス運行／放課後児童クラブ／放課後子ども教室／子ども見守り活動／みんなの保健室

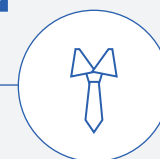
幼児期 P7

保育料完全無償化／2か月児家庭訪問／乳幼児健康診査／乳児一般健康診査／すくすく相談(離乳食相談会)／幼児歯科健診／絵本ふれあい事業／予防接種(定期)／任意予防接種助成／巡回相談事業／いるか教室／療育相談

05



06



高校・大学 P9

高校生通学費等助成／奨学金貸与

新社会人・婚姻 P9

ふるさと就職支援商品券交付／まち恋お見合い婚活応援／新生活スーパー住まい取得・リフォーム支援／奨学金返還支援／定住促進奨学金貸与

ライフステージとニーズに応じて

さまざまな支援策を展開しています。



妊娠中は、喜びとともに、不安や心配を感じることもあるのではないのでしょうか。
出雲崎町では安心して赤ちゃんを迎えられるように様々なサービスを行っております。

事業名	内容	手続方法	問合せ
母子健康手帳交付 (妊娠届)	妊娠中からの記録手帳で、妊娠届出時に発行します。	医師の診断を受けたくうえで、マイナンバーのわかるものを持参し申請してください。	●多世代交流館きらり (☎86-5580)
妊婦一般健康診査	妊娠中の14回の健康診査(血液検査、超音波検査等含む)の費用を町が一定額負担します。町が交付した受診券を健診受診時に医療機関窓口にて提出してください。	妊娠届出時に交付します。	●多世代交流館きらり (☎86-5580)
妊産婦医療費助成	妊産婦の医療費(保険適用分)を全額助成します。	妊娠届出時に申請してください。	●多世代交流館きらり (☎86-5580)
妊婦等包括相談支援	妊娠期から出産・子育て期まで家庭に寄り添い、切れ目のない支援を行います。妊娠中は前期と後期に助産師が自宅へ訪問し、妊婦の健康管理や骨盤ケア、出産・育児等に関する相談を行います。原則全員訪問します。	訪問日は個別通知します。	●多世代交流館きらり (☎86-5580)
不妊治療等助成	こどもを望む夫婦の経済的及び精神的負担の軽減を図るため、不妊・不育治療に要した費用の一部を助成します。また、不妊治療の相談にも応じます。	必要に応じて申請してください。	●多世代交流館きらり (☎86-5580)
家事支援	妊娠届～産後6か月までの間、家事を行う事が困難な妊産婦に、家事支援事業の助成をします。1人10回まで利用できます。1時間以内の利用：500円自己負担 2時間以内の利用：1,000円自己負担	事業所より家事支援サービスを受けた後、領収書等を持参し申請してください。	●多世代交流館きらり (☎86-5580)
幸せを運ぶコウノトリ祝金 (出産準備金)	妊娠22週を迎えられた方に、支度金として30万円を支給します。	対象者に個別通知します。	●多世代交流館きらり (☎86-5580)
妊婦支援給付金	安心して出産を迎えられるよう、経済的支援として5万円を支給します。	妊娠届出時に申請してください。	●多世代交流館きらり (☎86-5580)
妊婦歯科健診	妊娠中に1回歯科健診が無料で受けられます。 安定期(16～27週頃)の受診がおすすめです。	妊娠届出時に個別通知します。	●保健福祉課 (☎78-2293) ●多世代交流館きらり (☎86-5580)
インフルエンザ 予防接種の助成	母子健康手帳の交付を受けた妊婦の接種費用を助成します。 申請期間：10月1日から3月31日まで 助成額：2,500円	町内医療機関での接種の場合は、事前の申請が必要です。町外医療機関での接種の場合は、接種完了後に母子健康手帳または接種済証、領収書、振込口座の通帳を持参し申請してください。	●保健福祉課 (☎78-2293) ●多世代交流館きらり (☎86-5580)
予防接種(定期)	RS ウイルスワクチンを無料で接種できます。 妊娠28週から36週の間に1回接種します。	対象となる方へ個別に通知します。	●保健福祉課 (☎78-2293) ●多世代交流館きらり (☎86-5580)
みんなの保健室	妊娠に向けた健康づくりや不妊治療、月経不順等について町助産師による相談を行います。	事前にご連絡ください。(無料)	●多世代交流館きらり (☎86-5580)



ご出産おめでとうございます。各種手続きや医療費助成、育児に役立つサービスなど、
赤ちゃんの健やかな成長と子育てを支援する制度についてご紹介します。

事業名	内容	手続方法	問合せ
出生届	お子さんのお名前を戸籍に記載します。 (生まれた日から14日以内に届出ください)	出生届書、母子健康手帳、届出人のマイナンバーカード等を持参し、届出ください。	●町民課 (☎78-2294)
子どもの医療費助成	高校卒業までのお子さんの入院・通院にかかる医療費を全額助成します。	出生届出時に、お子さんが加入する医療保険情報がわかるもの(マイナ保険証、資格情報のお知らせ等)を持参し、申請してください。	●保健福祉課 (☎78-2293)
児童手当	高校生年代まで(18歳の誕生日後の最初の3月31日まで)の児童を養育している方に支給します。(公務員は勤務先で手続きしてください)	出生時に申請します。受給者及び配偶者の個人番号がわかるもの、受給者が加入している医療保険情報がわかるもの(資格確認書または資格情報のお知らせ)を持参し、申請します。※受給者は、原則父母のうち所得が高い方となります。	●保健福祉課 (☎78-2293) ●多世代交流館きらり (☎86-5580)
乳幼児おむつ等給付	出生月の翌日から3歳の誕生日までの間、毎月5,000円を上限として紙おむつ等の給付券を交付します。	町指定業者へ給付券を提出し、紙おむつ等を購入してください。	●保健福祉課 (☎78-2293)
家庭ごみ用指定袋等交付	3歳未満のお子さんがある世帯に出雲崎町家庭ごみ用指定袋(燃やすごみ用)の引換券を交付します。	出生届出時に3年分の引換券を交付します。有効期限までに家庭ごみ用指定袋販売店でお引替えください。	●町民課 (☎78-2294)
産婦・新生児訪問	助産師が生後28日までの赤ちゃんとお母さんを訪問し、産後及び出生後の状態の確認を行います。原則全員訪問します。	母子健康手帳にある「出生連絡票」(はがき)を提出してください。里帰り先への訪問も可能です。	●多世代交流館きらり (☎86-5580)
産婦健康診査費助成	産後2週間及び1か月の健康診査の費用を一定額負担します。 町が交付した受診券を健診受診時に医療機関窓口にて提出してください。	妊娠後期の家庭訪問時に助産師が受診票を発行します。健診時に受診票を医療機関窓口にて提出してください。	●多世代交流館きらり (☎86-5580)
新生児聴覚検査費助成	生後1か月以内の新生児に実施する聴覚検査の費用(上限：6,000円)を助成します。	検査の実施後3か月以内に母子健康手帳、領収書、保護者の振込口座の通帳を持参し申請してください。	●多世代交流館きらり (☎86-5580)
幸せを運ぶコウノトリ祝金 (出産祝い金)	次代を担う子の誕生を祝福し、健やかな成長を願って新生児1人につき20万円を支給します。	保護者の振込口座の通帳を持参し、出生届出時に申請してください。	●多世代交流館きらり (☎86-5580)
妊婦支援給付金	安心して子育てができるよう、経済的支援として、お子さん1人につき5万円を支給します。	2か月児家庭訪問時に申請してください。	●多世代交流館きらり (☎86-5580)
ベビーマッサージ	おうちの方が赤ちゃんにするマッサージです。赤ちゃんもマッサージされることで心身ともに健やかに成長できることを願い行います。2か月くらいから、赤ちゃんの様子を見ながらゆっくり行いましょう。	事前にお申し込みください。(無料)	●多世代交流館きらり (☎86-5580)
産後ケア	出産後も安心して子育てができるよう、助産師がお母さんの心身のケアや授乳・育児相談を行います。自宅へ伺う「訪問型」と、きらりで行う「デイサービス型」、委託医療機関で行う「宿泊型」があります。※里帰り先でも利用できます。 ○対象：おおむね1歳(宿泊型は4か月未満)までのお子さんとお母さん ○料金：訪問型、デイサービス型：無料、宿泊型：2,500円／日(生活保護世帯・町民税非課税世帯は無料)	ご希望の方は、事前に町助産師へご相談ください。	●多世代交流館きらり (☎86-5580)
チャイルドシート貸与	チャイルドシート(乳幼児兼用・学童用)を無料で貸し出します。	事前にお申し込みください。	●総務課 (☎78-2290) ●多世代交流館きらり (☎86-5580)



EARLY CHILDHOOD

幼児期

出雲崎町では保育料は完全無償化です。そのほかにも健康診査や各種予防接種など、子どもの成長に寄り添った支援制度を整え、安心して子育てできる環境を支えています。

事業名	内容	手続方法	問合せ
保育料完全無償化	国の制度である3歳～5歳児に加え、町の制度として0歳～2歳児の保育利用料を無償化し、保育利用料を完全無償化しています。	—	●多世代交流館きらり (☎86-5580)
2か月児家庭訪問	町助産師等が直接ご自宅へ訪問して、身体計測や育児相談を行います。生後2か月に達する日から3か月に達する前日までに訪問します。	対象者に個別連絡します。	●多世代交流館きらり (☎86-5580)
乳幼児健康診査	乳児 お子さんの病気の早期発見、健康の保持・増進のため、1人2回実施します。子育てに関する不安や悩みごともお気軽にご相談ください。 対象：1回目：3～4か月児／ 2回目：9～13か月児	対象者に個別連絡します。	●多世代交流館きらり (☎86-5580)
	幼児 お子さんの病気の早期発見、健康の保持・増進のために実施します。3歳児は尿検査・視聴覚検査をあわせて行います。子育てに関する不安や悩みごともお気軽にご相談ください。 ○1歳6か月児健診 対象：1歳6か月～ 2歳児 ○3歳児健診 対象：3歳～3歳4か月児 ○5歳児健診 対象：5歳児		
乳児一般健康診査	医療機関で実施していただく1か月健康診査の費用を助成します。出生届出時に受診票（水色用紙）を交付するので、大切に保管し、使用してください。	1か月健診時に受診票を医療機関窓口へ提出してください。	●多世代交流館きらり (☎86-5580)
すくすく相談 （離乳食相談会）	乳児期からの食生活及び生活リズムを中心とした健康づくりを目的として、お子さんの身体計測や、栄養士による離乳食相談を行います。子育てに関する不安や悩みごともお気軽にご相談ください。 対象：5～6か月児	対象者に個別通知します。	●多世代交流館きらり (☎86-5580)
幼児歯科健診	健康な歯づくり、虫歯予防を目的として1人につき、年2回無料で健診及びフッ化物塗布を実施しています。 対象：1歳～就学前まで	対象者に個別通知します。	●保健福祉課 (☎78-2293)
絵本ふれあい事業	絵本を通じて親子のふれあいを深めてもらうために、絵本をプレゼントします。	1歳6か月、3歳児健診時に配付します。	●教育委員会 (☎78-2250)
予防接種（定期）	すべて個別接種となります。 五種混合、麻しん風しん混合、BCG、日本脳炎、小児肺炎球菌、水痘、B型肝炎ウイルス、ロタウイルス	新生児訪問時にお渡しする予防接種予診票セットをご確認ください。 また、予防接種を受けるときは医療機関に事前に予約をし、接種してください。	●保健福祉課 (☎78-2293) ●多世代交流館きらり (☎86-5580)
任意予防接種助成	○おたふくかぜ 対象者：1歳～就学前まで 助成額：3,000円／回 ○インフルエンザ（10月1日から3月31日まで） 対象者：6か月～高校卒業まで（13歳未満2回接種） 助成額：2,500円／回	町内医療機関で接種の場合は、事前の申請が必要です。 町外医療機関で接種の場合は、接種後に申請が必要です。	●保健福祉課 (☎78-2293) ●多世代交流館きらり (☎86-5580)
巡回相談事業	臨床心理士が保育所等や小中学校へ出向き、子ども本人や保護者との面談や先生へコンサルテーションを行います。	事前にご連絡ください。（無料）	●教育委員会 (☎78-2250) ●多世代交流館きらり (☎86-5580)
いるか教室	療育が必要なお子さんを対象に、遊びや感覚統合を通しての発達・発育支援を行います。	事前にご連絡ください。（無料）	●多世代交流館きらり (☎86-5580)
療育相談	運動及び精神機能の発達に障害をきたす恐れのある乳幼児に対して、早期に適切な療育指導を行うこと、必要な機関の紹介を行い、健全な発育・発達を促します。（問診、専門医による診察と指導、個人指導など）	事前にご連絡ください。（無料）	●多世代交流館きらり (☎86-5580)



ELEMENTARY & JUNIOR HIGH

小中学校

ご入学・ご卒業おめでとうございます。こちらでは入学祝金や給食費補助に加え、通学バスや放課後クラブ、公設塾などを整備。学びと生活の両面から、子どもたちの学校生活を支えます。

事業名	内容	手続方法	問合せ
入学卒業祝金支給	小中学校等入学時及び中学校等卒業時における家庭の経済的負担を軽減するとともに、児童の健全な育成を図るために児童を養育する方に対し、入学卒業祝金を支給します。 ○入学祝金支給 小学校：5万円／中学校：6万円 ○卒業祝金支給 中学校：7万円	対象者に個別通知します。	●教育委員会 (☎78-2250)
町公設学習塾	家庭の経済状況にかかわらず、学ぶ意欲のある子どもが、能力・可能性を伸ばすことができるよう、小学6年生及び全ての中学生を対象に学習支援のほか、仲間と出会い、活動ができる居場所づくりにつながるような支援を行います。 ○受講料：無料 ○教材費等：月額3千円を上限に、保護者負担	教育委員会が別に定める期日までにお申し込みください。	●教育委員会 (☎78-2250)
学校給食費完全無償化	子育て世帯の負担軽減を図るため、令和8年度から出雲崎町立小・中学校に在籍する児童及び生徒の給食費を完全無償化します。	—	●教育委員会 (☎78-2250)
小学校スクールバス運行	学校の授業日に無料で運行する登下校用スクールバスがあります。中学生は冬季間のみ利用可能です。	—	●教育委員会 (☎78-2250)
放課後児童クラブ	共働き家庭などの児童を対象とした、児童の安全な居場所の確保と充実を図ります。必要に応じ環境整備を行い、子どもたちが安全に過ごせる居場所を提供します。	必要に応じて申請してください。	●教育委員会 (☎78-2250)
放課後子ども教室	放課後に小学校等の施設を活用して地域社会の協力を得ながら、子どもたちの安全で健やかな居場所づくりを推進します。	必要に応じ申請してください。	●教育委員会 (☎78-2250)
子ども見守り活動	防災行政無線により、子どもたちの下校を周知するとともに、スクールボランティアの見守り活動も行われます。	—	●教育委員会 (☎78-2250)
みんなの保健室	思春期のからだや性の困りごと、悩みごとについて町助産師による相談を行います。	事前にご連絡ください。（無料）	●多世代交流館きらり (☎86-5580)

🕒 // Enjoy school life! // 🎒





HIGH SCHOOL & UNIVERSITY

高校・大学

学びたい気持ちを町をあげて応援します。通学費の助成や無利子の奨学金制度、さらに卒業後の定住・就職で奨学金の返還を支援する制度など、学びと将来への一歩を応援する多様な支援を用意しています。

事業名	内容	手続き方法	問合せ
高校生通学費等助成	高等学校に通学する生徒に係る経済的負担の軽減を図るため、通学定期券購入費用の一部を助成する制度です。 また、通学が困難で下宿(寮)生活をされている生徒や学校が運行するスクールバスで通学されている生徒も対象になります。 ○助成金の額:助成対象経費の50%以内 ○助成期間:高校在籍期間	定期券使用期限までに申請してください。	●教育委員会 (☎78-2250)
奨学金貸与	修学意欲があるにもかかわらず、経済的理由により修学困難な方に対して奨学金を貸与して、在学中勉学に専念することのできるよう援助を行います。 ○申込資格者:高校、専門学校、大学のいずれかに在学する方 ○貸与月額(無利子):最高5万円 ○貸与期間:毎年4月から最短修業年限の最終月まで	事前にお問合わせください。	●教育委員会 (☎78-2250)



STARTING WORK & MARRIAGE

新社会人・婚姻

社会に一歩踏みだす新社会人の皆さんを応援します。こちらでは就職支援の商品券交付や婚活サポート、住まいの取得・リフォーム支援など、暮らしの基盤づくりを後押しする制度を用意しています。

事業名	内容	手続き方法	問合せ
ふるさと就職支援商品券交付	若者の定住と地元での就職の促進を図るため、新規学卒及びUターンによる就労者に対し、町内で利用できる「ふるさと就職支援商品券」を交付し、通勤や日常生活の支援を行っています。 ○対象者:新規学卒者等、Uターン就職者 ○商品券の交付:毎月1万円の商品券を交付、新規学卒者等最長で5年分、Uターン就職者最長で3年分	事前にお問合わせください。	●町民課 (☎78-2294)
まち恋お見合い婚活応援	本気で出会いを求める方を応援するため「まち恋お見合い婚活応援事業」を行っています。 地域に密着した県内事業者との連携により、さまざまなニーズに合ったサービスを受けることができ、登録費用やお見合い費用などの補助を行っています。	事前にお問合わせください。	●総務課 (☎78-2290)
新生活スーパー住まい取得・リフォーム支援	転入者や40歳以下の町内在住者等が居住のために、住宅を取得又は新築・リフォームする費用を最大120万円を支援します。	事前にお問合わせください。	●建設課 (☎78-2296)
奨学金返還支援	若者の定住促進を図るため、奨学金の貸与を受け大学・専門学校等に就学し、卒業又は退学後に当町に定住し、就職した方の奨学金の返還を支援します。 ○助成内容:最大100万円(20万円×5年間)	事前にお問合わせください。	●教育委員会 (☎78-2250)
定住促進奨学金貸与	修学意欲が高く将来出雲崎町に居住する意思がある方に対して、奨学金を貸与します。 ○申込資格者:大学、短期大学、専修学校、高等専門学校(第4学年以上)のいずれかに在学する方 ○貸与金額:年額12万円 ○貸与期間:在学する大学等の最短修業年限まで ○利子:無利子 ○返還方法:措置3年、償還5年以内 ○返還免除:大学等を卒業又は退学後、直ちに出雲崎町に居住し、その居住期間が3年を経過した場合、貸与を受けた奨学金の返還を全部免除します。	事前にお問合わせください。	●教育委員会 (☎78-2250)

VOICE FROM CUSTOMERS

子育て支援制度や施設(きらり)をご利用いただいた皆様の声。



出産準備の費用支援が早く反映され、余裕をもって準備ができました。
きらりはこどもも楽しめますが、大人も話を聞いてもらえるので、帰る時にはとてもすっきりした気持ちになります。

1歳のママ



保育料が完全無償化なので、毎月の生活費の安定に繋がっています。
きらりはいつもこどもたちがおもちゃ遊具でのびのび遊んだり、子育ての悩みも聞いてくれるのでとても助かっています。

3歳と1歳のママ



医療費が全額助成されるおかげで、風邪やケガの治療費を気にせず受診でき、家計がとても助かっています。
きらりはスタッフがとても親切に対応してくれるので安心して利用しています。

10歳と6歳のパパ



出産直後の支出が重なる時期に祝金支給されるので、必要なものを揃えるのに役立ちました。
きらりは悩みや嬉しいことなど感情を共有できるのでとても楽しく利用しています。

2歳のママ



妊娠期から子育て期まで成長期に合わせた切れ目のない支援をしてもらえるのでとても助かります。
きらりはこどもがゆっくり遊べるので毎回利用しています。

2歳と1歳のママ



医療費の心配がないので、子どもの健康状態を優先して早めに受診をしています。妻が不在時のワンオペ日には、こどもを連れてきらりを利用して

5歳と2歳のパパ

妊娠、出産、育児、教育など、それぞれのステージやニーズに応じて、さまざまな支援策を展開しています。ここでは、実際に支援制度や施設(きらり)をご利用されている方のお声をご紹介します。



出雲崎町は
子育て家族を
応援します。



2 出雲崎町のココが自慢 ほどよい田舎生活

海に山にほどよい田舎生活を存分に楽しめる素材がいっぱいなまち。

釣りやサップ、ツーリング、海を一望できる人気のサウナでも整えます。

小木ノ城の自然に触れる里山探訪。

マイナスイオンを肌で感じながら心地よい癒しの風を全身に浴びることができます。

そんな、ゆるい空気感を実感できるまちが出雲崎です。



未来へつなぐ
子育て応援宣言の
まち



海と山を100%堪能できる！
キャンプにサップ! アウトドアには最高のロケーション。



出雲崎のサップは、日本海の穏やかな海面をゆっくり進みながら、爽快な海上散歩が楽しめる人気アクティビティ。透明度の高い海や美しい夕日、静かな港町の景観を一度に味わえ、初心者でも安心して参加できます。

夕陽が沈む海辺で、 特別なキャンプ体験を。

日本海に沈む出雲崎の夕陽は、町をやさしく染める特別な景色。海風を感じながら楽しむキャンプでは、刻々と表情を変える空と波音が心をほどこしてくれます。家族や仲間と過ごす、自然に包まれた贅沢な時間を味わえ、日常を忘れるひとときが広がります。



妻入り街並みウォーキング。

出雲崎の海岸地区に広がる妻入りの街並み。歴史ロマンを感じる街並みでウォーキングを楽しんでみてはいかがでしょうか。



海風を感じる最高のツーリング。

日本海の海風を感じながらバイクでツーリング。越後出雲崎天領の里は、バイクの聖地」として知られています。



海と歴史を楽しむ天領の里。

海を望む道の駅で新鮮な海の幸や物産を楽しみ、併設の時代館で出雲崎の歴史と文化にも触れられる観光拠点です。

HAVE A BLAST IN IZUMOZAKI!



出雲崎の名物といったら、炭火でじっくり焼き上げる油ののった、おいしい「浜焼き」。鯖やいか、かれいや赤魚、アナゴなど種類は豊富。身はふっくら絶品です。



海の出雲崎、全国的にも珍しい夕競り。

県営漁港をもつ出雲崎。令和6年漁業実績は、漁獲量は「たら」がトップ。次いで、「たい」、「さざえ」となりました。総漁獲高は1億1,481万円。出雲崎は、新鮮な魚介類の宝庫です。夕方にかかる競りは「夕競り」といって、全国的にも珍しい出雲崎特有の風景です。

生産量日本一の紙風船。

出雲崎の特産品として有名なのが昔ながらの紙風船。漁師のおかみさんの内職として営まれてきました。張り子さんが、8枚の紙を丁寧に張り合わせて完成します。生産量は日本一。現在は、金魚やふぐなど観賞用のものもたくさんあり、日々紙風船も進化しています。



3 出雲崎町のココが自慢 子育て・教育施設も充実



未来へつなぐ
子育て応援宣言の
まち

幼保小中高と切れ目のない教育環境。

出雲崎には、私立の認定こども園と保育園が各1園、小学校・中学校ともに1校、県立の出雲崎高校があり、小さな町の特性を最大限に生かし、良寛のころを心としたきめ細かい寄り添い教育を展開しています。また、公設学習塾も開設。受験対策や習熟度に応じた学習支援等、取り残しのない学習環境を構築しています。



出雲崎こども園

出雲崎こども園は、充実した教育保育環境で子どもの興味関心を耕し、創造的な探究活動で学びの芽を伸ばしています。安心の保障と対話や協同体験で得る知識や思考力、表現力、社会性は、豊かな人間性の基礎を育みます。



小木之城保育園

小木之城保育園は、緑豊かな自然環境の中で、チャレンジする気持ちや仲間と協力する気持ちを育む活動を展開しています。和太鼓やよさこい、茶道等の活動を楽しみながら、心と体を育てる保育も実践しています。



出雲崎小学校

出雲崎小学校では、豊かな自然や歴史、文化の中で、活躍する地域の人材を生かしつつ、積極的に関わり合う教育活動を展開し、だれとでも仲良くする子、すすんで学びとりくむ子を教育目標として掲げています。



出雲崎町は町ぐるみで子育てを支えます。



出雲崎中学校

出雲崎中学校では、ふるさとに根付く「心耕」の精神を受け継ぎ、学校・家庭・地域が一体となって、連携・協力して教育活動を推進する「地域とともにある学校」を目指しています。



出雲崎高校

出雲崎高校は単位制高校で、多様な選択科目、自分を成長させる「探究」、小規模校ならではのサポート体制により「一人ひとりを伸ばし、輝かせる教育の実現」に取り組んでいます。各種活動で出雲崎町と連携し、生徒を育てています。

まちの子育て応援拠点施設「多世代交流館きらり」

出雲崎「子は宝」多世代交流館きらりは、出雲崎町保健福祉課ことも未来室が運営・管理する子育て応援拠点施設です。子育てにまつわる仲間づくりや育児スキルアップイベント、保健師・看護師・助産師・保育士・家庭児童相談員による子育て相談も行っています。



広い運動スペースと、おもまごとや素材遊びなど、子どもたちの興味に合わせたスペースをご提供しております。



例えば「きらり」は、こんな使い方ができます。



遊び場の提供

きらりでは、メインの遊び場として、「おひさまルーム」が人気。クライミングやモグラのお家などの大型遊具のほか、楽しい遊びが盛りだくさんです。



子育て情報の提供

町のHPはもちろん、公式SNSでも最新情報を発信しています。また、事業やモグラのお家などの大型遊具のほか、楽しい遊びが盛りだくさんです。



育児相談

きらりでは、保健師、助産師、保育士等が常駐しており、あらゆる相談に対応できる体制を整えています。また、オンライン相談も受け付けています。



フリースペース

迎えの待合や、お友だち同士の交流、宿題、学習の復習など、使い方はいろいろです。多目的運動場での休憩スペースとしても利用できます。

移住者の声 Real Voice

出雲崎町に移住した方々に、まちの魅力や暮らしについてお伺いしました。



渡辺 昂洋さんファミリー

職業 会社員 移住時期 令和6年

家族構成 夫(本人)、妻、長女

通いやすさと暮らしやすさ、人のあたたかさで選びました。

結婚後の住まいを考えたとき、お互いの実家の中間で職場にも通いやすい出雲崎町が自然と候補に挙がりました。ちょうど宅地分譲が始まり、価格もとても求めやすかったので購入を決断。子育て支援が充実していることも後押しとなり、さっそく町営住宅の「ひまわりハウス」に入居させて頂きました。ご近所の声かけも温かく、建築中のマイホーム完成が今からとても楽しみです。



山崎 翔平さんファミリー

職業 会社員 移住時期 令和2年

家族構成 夫(本人)、妻、長男、次男

支え合いのある町で、安心の子育てが始まりました。

町外で暮らしていましたが、妻の実家がある出雲崎町なら安心して子育てできると思い移住しました。町営住宅「ひまわりハウス」に入居し、支援制度や補助金の充実、近所の温かさに惹かれて宅地を購入。ご近所には同世代も多く、子どもたちと賑やかに暮らしています。小さな町ならではの支え合いを日々実感しながら、子どもが成長していく姿を見るのが楽しみです。



ふうちゃん

「未来へつなぐ子育て応援宣言のまち」
イメージキャラクター

出雲崎町子ども子育てガイドブック

出雲崎町 保健福祉課 こども未来室

〒949-4342 新潟県三島郡出雲崎町大字米田395番地

TEL:0258-86-5580

E-mail: kodomo-mirai@town.izumozaki.niigata.jp



《しあわせ子育て応援サイト

表紙の広場



屋外こども広場 〜いずもざき すまいるパーク〜

屋外こども広場 〜いずもざき すまいるパーク〜は、「多世代交流館きらり」から歩いてすぐ隣にあります! 大きな滑り台やネット遊具があるので、登ったり降りたり、高低差を利用して思いっきり遊ぶことができる楽しい施設です。

「子は宝」
多世代交流館きらり
サイト

